

中国語の“進”と“～進”の意味と構文形式について

王 志英

要 約

本稿は中国語の動詞の“進”と方向補語としての“進”の基本義とその構文形式について考察した。今までの先行研究では、“進”と“～進”はある空間に入ることを表すと記述しているが、本研究は“進”と“～進”は以上の意味以外に、前進するという意味もあり、二つの意味の間は連続であると提案する。“進”による主語や目的語の移動する方向は横しかないのに対して、“～進”は前の動詞の語彙意味により、横、下、曲線的な移動方向が見られる。

主語による移動の場合は“進”と“～進”の後に到達空間が置かれる。目的語による移動の場合は“進”と“～進”の前は場所か到達空間が置かれ、後は目的語が置かれる。もし、“～進”の後は到達空間であれば、“把構文”や“受け身構文”がよく使われる。“進”と“～進”の後の到達空間が省略されている場合は“進”と“～進”の後に“来・去”をつける。

キーワード：動詞，方向補語，主語，目的語，構文

はじめに

中国語の“進”は動詞で，“～進”は方向補語である。

刘月华(1996 pp.463)は中国語の“進”と“出”について、次のような記述がある。

ある場所(ふつう人または物を収めることのできる空間を指す)の中から外に向かう時は“出”を用い、外から中に向かう時は“進”を用いる。

更に，“進”について“表示由外面向里面移动。立足点可以在外面，也可以在里面”(刘 1998 pp.203) (外から中へ移動することを表す。着点は外でもよいし、中でもよい) (筆者訳)という説明もある。

しかし、次の例文は空間へ移動する意味を持っていない。

- (1) 向前进。(前へ進む) (V9)
- (2) 进两步,退一步。(2歩前進して,1歩後退する) (V9)

卢(2007 pp.54)は“進”の基本義は“表示某客体从某容器外向该容器内的位移”(ある客体はある容器の外からその容器の中へ移動する) (筆者訳)で,“～進”の基本義は“主体通过某种方式使客体从某容器外向容器内作位移”(主体がある方法で客体をある容器の外からその容器の中へ移動させる) (筆者訳)と説明している。卢の“進”と“～進”についての定義でやはり,(1)と(2)の文を説明できない。

卢(2007 pp.54)は刘(1998)の例文を引用して,“進”と“～進”がまた“凹陷”の意味を表すと述べている。

(3) 桌子中间凹进一块,很不美观。(テーブルの真ん中は一か所凹んでいて,見た目ではよくない) (筆者訳) (刘 1998 pp.206)

しかし, (3) の“凹陷”の意味は“进”による意味ではなく,“凹”による意味だと考えられる。というのは,“进”がなくても,よいわけである。

(3') 桌子中间凹入一块,很不美观。

本稿は中国語学習者の立場から,“进”と“~进”の意味を分かりやすく理解できるため,“进”と“~进”の基本義とその構文形式について考察したい。

まず,“进”と“~进”を使用する場合の必要条件について考察する。

1. “进”と“~进”の必要条件

“进”と“~进”を使用する場合は以下の条件が必要である。

a. 移動物 (主語 S か目的語 O)

b. 移動方向・到達空間¹⁾ (移動する方向 D (Direction), 到達空間 Lo)

(4) 只要大花猫一叫,它们就吓得缩进洞里不敢出来。(花柄模様の大きな猫が鳴いたら,彼らはびっくりして,穴の中に潜んでいて,出てくる勇気がない) (筆者訳) (CCL)

(4) の移動物は“它們”で,到達空間の Lo が“洞里”である。勿論文脈より,推測可能な場合なら,到達空間が省略されてもよい。しかし,到達空間が省略される場合は(5)の例文のように“进”と“~进”の後に“来・去”が必要である。というのは,“来・去”によって,主観的視点からの位置関係が反映されているため,到達空間 Lo がなくてもよいのである。

(5) 酒壮人胆,我借着酒劲,好奇地想进去看看究竟。(お酒を飲むと,勇気が出てくる。私はお酒の勢いで,好奇心が湧いてきて,中に入り,中の様子をしっかりと見ようと思った) (筆者訳) (CCL)

(5) は到達空間 Lo がなくて,“进”の後に“去”をつけている。

到達空間 Lo と“来・去”がない場合もある。

(6) 请进。(どうぞお入りなさい) (V9)

(6) については,「この場合には,発話の場面に依存して言語化されていない着点が明確に認識できることによる」(丸尾 2009 pp.7)ということである。

(7) のように,古文なら,到達空間 Lo と“来・去”がない場合もある。

(7) 秩秩焉依次而进。(整然と順次進む) (V9)

到達空間の代わりに,移動方向が明確であれば,文は成り立つ。

(1) 向前进。

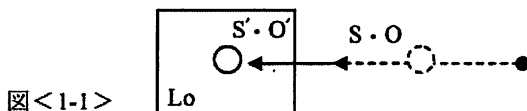
(1) は主語 (省略) が前への移動を表す。

II. 動詞としての“进”

まず動詞としての“进”の基本義を見てみよう。

1. “进”の基本義

動詞としての“进”の基本義は移動物 (主語や目的語) がある目標に向かって,前進することとある空間に入ることを表す。



図<1-1>

図<1-1>では、S（主語）やO（目的語）が前進し、到達空間Loに入ることを表す。S'、O'はLoに到達したものを表す。“進”の前進する意味と到達空間に入る意味は連続的である。

1-1 前進する意味

- (8) 朱德坚决拥护这一方针。会后，率部北进。（朱德はこの方針を絶対的に支持している。会議の後、部隊を率いて、北へ進んだ）（筆者訳）（CCL）
- (9) 接着，戚继光率军南进，连克敌营数十座，攻破牛田，林敦等倭寇巢穴。（続いて，戚继光は軍隊を率いて南へ進み，敵のキャンプ数十か所を撃破し，牛田、林敦などの日本軍の拠点を攻め落とした）（筆者訳）（CCL）

以上は主語“朱德”や“戚继光”が部隊を率いて，“北”と“南”へ向かい，前進することを表す。

前進することは最終的に到達空間に入ることが普通なので，前進する意味と到達空間に入る意味は連続的である。

1-2 到達空間に入る意味

“進”はある空間に入るという意味を表す場合は，移動する方向が横へしかない。

- (10) 就在家里呆着，也不进城。（家に閉じこもっていて，町へも行かない）（筆者訳）（CCL）
- (11) 我买了票进场，电影很快就开始了，……（私はチケットを買い，中に入ったら，映画が始まった……）（筆者訳）（CCL）

以上の(10)の主語（省略されている）は到達空間“城”に入ることを表す。(11)の主語は“我”で，到達空間は“場”である。

次は“進”の構文形式について具体的に見てみる。

2 “進”の構文形式

動詞としての“進”の構文形式は以下のようなものが挙げられる。

2-1 前進する意味を表す構文形式

“進”が前進するという意味を表す場合に，殆ど主語の移動を表し，二つの構文形式が挙げられる。

- ① S+D+進
- ② S+進+数量

次はこの二つの構文形式について検証してみよう。

2-1-1 S+D+進

- (12) 9月中旬，日军西进占据大同，其主力继续南下。（9月中旬，西へ向かった日本軍は大同を占拠し，その主力部隊が続いて南へと向かった）（筆者訳）（CCL）
- (12)は主語“日军”は“西”という方向へ前進することを表す。

2-1-2 S+進+数量

- (13) 老孙头大胆地朝前进两步，狗又退两步。（孫さんは大胆に前へ二歩進んだら，犬はまた後ろへ二歩下がる）（筆者訳）（CCL）
- (14) 新旧混杂，中西混杂，进三步，退一步。（新しいものと古いものが混ざっていて，三歩進んだら，一歩下がる）（筆者訳）（CCL）

(13) は主語の“老孙头”が前への移動を表す。(14)の主語は省略しているが、“三步”と前へ進むことを表す。

「前進する」という意味から派生した意味もある。

(15) 有待于我们进一步探索。(私たちが更に検討しなければならない) (筆者訳) (CCL)

(16) 他的分析比你的分析又进了一层。(彼の分析はあなたの分析よりいちだんと深まっている) (V9)

(17) 通过这次访问,我们两国的关系又向前进了一步。(このたびの訪問を通じてわれわれ両国間の関係はさらに一步前進した) (V9)

(18) 或许是因为这样的经历,能让我们对生活的理解,对人生的感悟更进一层,更透彻一些。
(こういう経歴のおかげで,私たちが生活への理解,人生への悟りが更に深めたと思う)
(筆者訳) (CCL)

(19) 九年了,那匹刚进五岁的,宽胸细腰的黑马,……(9年が過ぎた。あの5歳になったばかりの広い胸と細い腰の黒馬が……) (筆者訳) (卢 2007 pp.52)

以上の“进”の後に数量詞があることによって,(15)の主語“我们”,(16)の“他的分析”,(17)の“两国的关系”,(18)の“理解、感悟”,(19)の“黑马”は前へ進み,関係や内容が進展し,程度が深まることを表す。

2-2 到達空間に入る場合の構文形式

ある空間へ移動することを表す場合,主語の移動と目的語の移動と,二つに分けることができる。構文形式が次のようになる。

① 主語による移動

a. S+进+Lo

b. S+进+(Lo)²⁾+米・去

② 目的語による移動

a. S+进+(数量)+O

b. (给・为・向...+Lo)+进+(数量)+O

次はその用法について見てみよう。

2-2-1 主語による移動

a. S+进+Lo

“进”の後は空間名詞の場合,主語Sがその空間(到達空間)に入ることを表す。

(20) 进北京大学学习。(北京大学に入学して勉強する) (V9)

(21) 我没带钥匙,进不了屋子了。(かぎを持っていないので部屋に入れなくなった) (V9)

(22) 至此,故事才进入正题。(今になってこそ物語は本題に入ったのだ) (V9)

以上は(21)の主語“我”,(22)の“故事”が到達空間“屋子”,“正题”に入ることを表す。(20)の主語は省略されているが,空間は“北京大学”である。

“进”の後に到達空間Loがなければ,“米・去”をつける。

b. S+进+(Lo)+米・去

(23) 我穿一解放军的绿褂子,然后进来之后呢,就训我,你哪儿的?(私は解放軍の緑の上着を着ていたが,中に入ってきたら,いきなりどこの者かと怒鳴られた) (筆者訳) (CCL)

(24) 他穿上便服后,从后门走了进去。(彼はふだん着を着て,裏の門から入った) (筆者訳) (CCL)

(23) は“进”の後の到達空間がないが，“来”によって，推測することができる。(24) は“从”フレーズによって，出発点が“后门”であるため，“进”の後の到達空間が省略され，“去”をつけている。

2-2-2 目的語による移動

a. S+进+(数量)+O

目的語の移動を表す場合，“进”の前に場所をつける。

(25) 商店里刚进了一批新货。(商店では新商品をひとまとめ仕入れたばかりです) (V9)

(26) 我们厂又进了二十名工人。(私たちの工場ではまた労働者を20名受け入れた) (V9)

以上は“商店里”，“我们厂”という場所に目的語“新货”，“工人”が移動し，入ってきたことを表す。実物の移動の場合は(25)，(26)のようにその実物の前に数量詞をよくつけられる。

Sは空間以外に人間である場合もある。

b. (给・为・向...+Lo)+进+(数量)+O

(27) 进酒。(酒をすすめる) (V9)

(28) 为君进一言。(君にひと言忠告する) (V9)

(29) 李斯因嫉妒同学韩非的才能，向秦王进谗言……。 (李斯は同級生の韓非の才能に嫉妬していて，秦王に李斯の悪口を言う……) (筆者訳) (CCL)

(27)の場所は省略されているが，目的語“酒”をLに移動させることを表す。(28)，(29)は“君”，“秦王”という場所に“言”，“谗言”を移動させることを表す。

以上のように，“进”の前が空間場所であれば，その空間に人間の力で目的語を移動し，主語に目的語を受け入れてもらうことを表す。もし，“进”の前が人間であれば，その主体に何かを勧めるか，ある影響力を与えることになる。(27)は“酒”を相手のところに移動させることによって，“勧める”という意味，(28)は“言”，(29)は“谗言”を移動させることによって，相手に影響力を与えることになる。

動詞としての“进”の構文は，主語の移動先なら“进”の後，目的語の移動先なら“进”の前に置かれる特徴が見られる。到達空間が省略されている場合は，“进”の後に“来・去”をつける。

Ⅲ. 方向補語としての“~进”

“~进”は方向補語である場合，“~进”の前に動詞をつける。

1. “~进”の基本義

方向補語としての“~进”は動詞の“进”と同じように，二つの側面を持っている。“~进”の基本義は動作，状態に伴い前進することとある空間に入ることを表す。

1-1 前進する意味

(30) 午后敌一部向北推进，与我新二十二师在克永冈附近发生遭遇战，双方彻夜对峙。(午後敵の一部が北へ進み，新二十二師と克永岡付近で遭遇戦になって，一晩中睨み合っていた) (筆者訳) (CCL)

“~进”は前進する意味を表す場合，(30)のように“~进”の前に介詞“向”フレーズをつける場合が多い。

1-2 到達空間に入る意味

方向補語としての“～進”は動詞の後に用いて、主語や目的語が動作に伴い、外から到達空間へ入ることを表す。

(31) 左边的墙壁上凹进去一大块，里面放了一个长方形的玻璃鱼缸。（左側の壁の一部が凹んでいて、その中に長方形のガラス製の金魚鉢が置かれていた）（筆者訳）（CCL）

(31)は“墙壁上”という場所に目的語（できた空間を意味する。省略）が入ることを表す。到達空間へ移動する場合，“～進”の前の動詞の意味により、主語や目的語の移動する方向が決められる。

2. “～進”の移動する方向について

動詞としての“進”の移動する方向は横へしかないのに対して、方向補語の“～進”は以下のような移動方向が見られる。勿論、その方向は“～進”の前の動詞によるものである。

2-1 横への移動

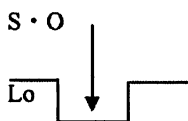
(32) 汽车退进了厂门。这一次没有先捏喇叭。（車がバックしながら工場に入ったが、今回はクラクションを鳴らしなかった）（筆者訳）（CCL）

(33) 从外边跑进几个小男孩。（外から男の子たちが何人か駆け込んだ）（V9）

以上は主語の“汽车”が横へ移動し、到達空間の“厂门”に入ることを表す。(33)は目的語“小男孩”が到達空間に移動することを表すが、到達空間 Lo が省略されている。しかし、起点“外边”より、到達空間 Lo を連想させることができる。

2-2 下への移動

下への移動とはやはり“～進”の前の動詞の語彙意味によるものである。



図<2-1>

(34) 否则，一不留神，连银行也陷进去难以退身了。（そうでないと、うっかりしたら、銀行までも破滅状況に入り、抜け出せなくなる）（筆者訳）（CCL）

(35) 石头掉进水里，很快沉入水底；（石は水の中に落ちて、またたく間に底についた）（筆者訳）（CCL）

(36) 我羞得真想找个地缝钻进去。（私は恥ずかしくて、穴があったら、入りたいぐらいだった）（筆者訳）（CCL）

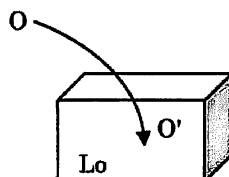
(34)は主語“銀行”が到達空間（省略）に、(35)の“石头”が到達空間“水底”に入ることを表す。(36)の主語“我”は到達空間の“地缝”に入ることを表す。

卢 2007pp.54 は“‘进’的这种用法极少，在我们所搜集到的语料中没有发现一例，……”（“进”のこのような用法は極めて少なく，集めた用例の中に一例もなかった）（筆者訳）と述べているが，実は以上のように，CCL から“～進”の所謂“凹陷”を表す用例が大量あったことが分かった。“～進”は“凹陷”の意味を表すのではなく，前の動詞の動きによって，到達空間に移動するという意味のみを表すという。

勿論，“～進”の前の動詞の意味により，主語や目的語の移動する軌道が曲線のものもある。

2-3 曲線移動

曲線移動は“放”という動作によるものである。



(37) 把衣服放进箱子里。(衣服をトランクの中に入れる) (V9)

(37) は動作“放”によって、目的語“衣服”の移動する軌道は曲線だと考えられる。

以上は“～進”の基本義について考察したが、次は方向補語の“～進”の構文形式について、まとめてみる。

3. “～進”の構文形式

方向補語の“～進”は前の動詞により、「前進する」という意味を表す場合と「到達空間に入る」という意味を表す場合がある。

3-1 前進する意味を表す構文形式

“～進”が前進するという意味を表すには、主語による移動と目的語による移動に分けることができる。以下のような構文形式が見られる。

① 主語による移動

- a. S+向+D+V+進
- b. S+V+進+来・去+数量

② 目的語による移動

- a. S+把+O+V+進+(到)+数量

まず、①の用法から見てみる。

3-1-1 主語による移動

- a. S+向+D+V+進

(38) 29 岁的周恩来率领着几万人的起义军，由南昌向南挺进。(29 歳の周恩来は何万人の武装蜂起した人を率いて、南昌から南へ進んだ) (筆者訳) (CCL)

この構文の場合は、主語“周恩来、起义军”が南という方向へ直進することを表す。

移動物が直進し、移動した距離を表すには“～進”の後に数量詞をつける。

- b. S+V+進+去・来+数量

(39) 过了菜场，市房缩进去一段，拓宽的人行道成了有照和无照的摊贩的天下，……(野菜市場を過ぎたら、建物が少し奥のほうへ移動されたため、広くなった歩道が免許を持っている人と持っていない人たちの商売用の場所になった) (筆者訳) (CCL)

(39) は主語の“市房”が奥のほうへ移動した距離が“一段”であることを表す。

移動物が目的語で、特定のものである場合、「把構文」を使うことができる。

3-1-2 目的語による移動

- a. S+把+O+V+進+(到)+数量

(40) 以后他把这个数推进到 35 位。(その後彼はこの数字を 35 桁まで引き上げた) (筆者訳)

(CCL)

(41) 据此可以把中国酒文化和酿酒业向前推进近 1000 年的历史。(これによって、中国のお酒文化とお酒作りの歴史を 1000 年先に遡ることができる) (筆者訳) (CCL)

(40) は目的語“这个数”を前へ“35 位”と移動させたことを表す。(41) は“中国酒文化和酿酒业”を“1000 年先”へ移動させたことを表す。

3-2 到達空間に入る場合の構文形式

“～進”が到達空間に入ることを表す場合、主語による移動と目的語による移動とに分けられる。

① 主語による移動

- a. S+V+進+Lo
- b. S+V+進+(Lo)+米・去

② 目的語による移動

- a. S+V+進+(米・去)+数量+O
- b. (从+L)+V+進+(米・去)+数量+O (L: 場所)
- c. S+把+O+V+進+Lo
- d. S+把+O+V+進+(Lo)+米・去
- e. O+(被)+V+進+(Lo)+米・去

次はそれぞれの構文について検証してみよう。

3-2-1 主語による移動

a. S+V+進+Lo

場所を表す名詞を目的語にとる形で、主語が動作によって、到達空間 Lo の中に入ることを表す。

(42) 又有许多人住进了新楼。(また多くの人が新しいアパートに移り住んだ) (V9)

(43) 我一头钻进图书馆, 翻阅了大量古今中外关于孔子的资料。(私は図書館に入り, 昔と今, 中国と外国の孔子に関する資料を大量に調べた) (筆者訳) (CCL)

(44) 经过层层筛选, 我终于如愿以偿, 杀进了决赛。(何回かの予選を経て, 私はやっと目的を果たして, 決勝戦に入った) (筆者訳) (CCL)

以上は主語“许多人”, “我”, “我”は動作に伴い, 場所目的語の“新楼”, “图书馆”, “决赛”に入ったことを表す。

場所目的語が明記されない場合は, “～進”の後に“米・去”をつける。

b. S+V+進+(Lo)+米・去

(45) 那是一辆小型车, 我几乎坐不进去。(あれは小型車で, 私はぎりぎりまで中に入った) (筆者訳) (CCL)

(46) 如今在长兴里 3 号住着 43 户人家, 这些住户大部分是建国前搬进来的。(今长兴里 3 号に 43 戸が住んでいて, これらの住民は殆ど建国前に引越してきたのである) (筆者訳) (CCL)

(45), (46) は“～進”の後に場所目的語の代わりに“米・去”をつけているが, 文脈から場所目的語はそれぞれ“小型车”、“长兴里 3 号”であることが分かる。

主語の出発点が分かれば“～从”フレーズによって, 表される。

(47) 但银白的月光依然执著地从窗户中透进来。(しかし, 銀色の月光はしつこく窓の隙間か

ら入ってきた) (筆者訳) (CCL)

(47) は主語“银白的月光”が“窗户”という出発点から到達空間(省略)までに入ってくることを表す。

以上のように、主語による移動の場合は、“～进”の後に到達空間か“来・去”をつけるのである。

3-2-2 目的語による移動

a. S+V+进+(来・去)+数量+O

この構文は主語がある場所から到達空間に目的語を入れることを表す。

(48) 买进许多新书。(新刊書をたくさん買い入れた) (V9)

(49) 再打进去一个鸡蛋。(もう1つ卵を割って入れる) (丸尾 2009 pp.7)

(48) は主語と場所が省略されているが、“买”という動作によって、目的語“新书”が入ったことを表す。(49) は到達空間(省略)の中に目的語“鸡蛋”が移動されることを表す。

目的語の出発点が分かれば、動詞の前に“～从”フレーズをつけることができる。

(50) 中国从澳洲引进 2667 头种牛。(中国はオーストラリアから種ウシを 2667 頭輸入した) (筆者訳) (CCL)

(50) は主語の“中国”は出発点の“澳洲”から、目的語“种牛”を到達空間(省略)に入れることを表す。到達空間は文脈から“中国”だと推測することができる。

目的語自らの移動を表す場合もある。

b. (从+L)+V+进+(来・去)+数量+O

(31) 从外边跑进几个小男孩。(外から男の子たちが何人か駆け込んだ) (V9)

(31) は目的語“小男孩”は自ら“外边”という出発点から到達空間(省略)に入ることを表す。

もし、目的語が特定(definite)されたものであれば、「把構文」を使うことができる。

c. S+把+O+V+进+Lo

(51) 我们打退追敌，不要把敌人带进根据地。(私たちは追いかけてきた敵を根拠地に入れさせないで、彼らを退かなければならない) (筆者訳) (CCL)

(51) は特定の目的語“敌人”を到達空間“根据地”に入れさせないことを表す。

場所目的語 Lo がなければ、“～进”の後に“来・去”をつける。

d. S+把+O+V+进+(Lo)+来・去

(52) 他们是经过厨房把姚明偷偷带进来的。(彼らは厨房を通して、姚明をこっそりと連れてきたのである) (筆者訳) (CCL)

(53) 于是我把 DVD 放进去，看了大概 5 分钟，……(そこで私は DVD を機械に入れ，5 分ほど見ていた……) (筆者訳) (CCL)

(52) の目的語“姚明”の移動先は明示されていないが，“来”によって、文脈から推測することが可能である。(53) の目的語“DVD”は“去”と後の文の意味によって、移動先は DVD プレーヤーであることが分かる。

“～进”の後の場所目的語を省略しない場合もある。

(54) 锁进抽屉里去。(引き出しの中に入れて鍵をかける) (丸尾 2009 pp.6)

(54) は目的語(省略)を“抽屉”に移動させることを表す。

“～进”の後に“来・去”を伴う場合、受身文という構文形式も見られる。

e. O+(被)+V+进+(Lo)+来・去

(55) 那个小偷被抓进去了。(あの泥棒は捕まって(牢屋などに) 入れられた) (丸尾 2009pp.6)

(55) の目的語“小偷”は主語(省略)によって、到達空間(省略)に入れられたことを表す。

“被”という介詞を省略する用法もある。

(56) 可惜我的花园很小,各种花卉种进来以后,就再也容纳不下了。只好拿一小株种在花盆里,……(残念なことにうちの庭園は小さく,各種草花を植えると,もうそれ以上は入りきれなくなった。仕方なく,小さな株を1つ取って植木鉢に植えて) (丸尾 2009pp.9)

(56) は目的語“花卉”は到達空間(省略)に移動されることを表す。文脈から到達空間は“花园”であることが分かる。“各种花卉”の後の“被”は省略されている

主語による移動の場合は,“~进”の後は到達空間である。目的語による移動の場合,“~进”の後は目的語であれば,到達空間は“~进”の前に置かれる。“~进”の後は到達空間であれば,「把構文」か「受身文」になる。

“~进”は前の動詞の補語として使われているので,「把構文」や「受身文構文」と相性がよい。よって,方向補語としての“~进”の構文形式は動詞としての“进”のより煩雑そうに見える。

おわりに

本稿は中国語学習者の立場から中国語の動詞“进”と方向補語の“~进”の基本義と構文形式について考察した。“进”と“~进”は前進する意味とある空間に入る意味と二つ持っているが,この二つの意味の間は連続的である。

“进”による主語や目的語の移動方向は横しかないのに対して,“~进”は前の動詞の語彙意味により,横、下、曲線的な移動方向が見られる。また,“进”の構文形式は単純であるのに対して,方向補語としての“~进”は煩雑であることが分かった。主語による移動の場合は“进”と“~进”の後に到達空間が置かれる。目的語による移動の場合は“进”と“~进”の前は場所か到達空間が置かれ,後は目的語が置かれる。もし,“~进”の後は到達空間であれば,“把構文”や“受け身構文”がよく使われる。“进”と“~进”の後の場所目的語が省略されている場合,“进”と“~进”の後に“来・去”をつける。

注

- 1) 到達空間のことを本文では便宜上,「場所」,「場所目的語」という用語使うこともある。
- 2) ()にあるものは,文中になくてもよいということを表す。

例文引用文献と略称

北京大学汉语语言学研究中心语料库。(CCL)

http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai

中国語デジタルマルチ大辞典, Chinese Writer V9, KODENSHA. (V9)

参考文献

- 丸尾誠 (2009)「中国語の動補構造“V 进(来/去)について」,『日中言語対照研究論集』第11号, pp.1-15
- 刘月华・潘文娛・故韓 (1996)『現代中国語文法総覧』[相原茂(監訳),片山博美・守屋宏則・平井和之(共訳) 1996 ころしお出版社]
- 刘月华 主编 (1998)《趋向补语通释》北京语言大学出版社
- 卢英顺 (2007) <“进”类趋向动词的句法,语义特点探析>,《语言教学与研究》第1期, pp.52-59

关于汉语的“进”、“～进”的语法意义及其句型结构

王 志英

提 要

本论文对汉语动词“进”和趋向补语“～进”的基本意义和其句型结构特征进行了考察。在以往的研究中都认为“进”和“～进”的基本意义是进入某空间，但据笔者考察“进”和“～进”除了以上的意义以外，还有向前的意义。这两者之间的意义是具有连续性的。“进”的移动方向只有横向，而“～进”则具有横向、向下以及曲线性的方向。主语移动时，“进”和“～进”后接到达场所。宾语移动时，“进”和“～进”前接场所或到达场所，后接宾语。如果“～进”后接到达场所时，就用“把字句”或“被动句”。“进”和“～进”的后面的到达场所被省略时，一般要用“来・去”替代。

关键词：动词，趋向补语，主语，宾语，句型